

令和元年度 学校評価一覧と結果概要

仙北市立中川小学校

のびやかな
さわやかな
しなやかな
中川つ子を育てる

目標	No	評価項目・評価指標	自己評価	評議員 総合評価	学校評議員コメント	学校の主な改善策
確かな学力	1	わかる授業の実践 ・児童の満足度(児童アンケート)	5	5	・「めあて」と「振り返り」が明確化されていて、理解しやすい授業になっている。 ・「大規模校に行く」という前提で授業が行われており、基本的な学習習慣が統一されていてよい。「自分の力でやっていく」という意識を引き続き高めたい。	・定期的な児童の意識調査に基づく実態把握 ・汎用的授業スタイルの確立(見通し・対話・振り返り) ・研究研修の定期的な振り返りと情報交換による具体的な実践
	2	子どもが主体の授業展開 ・児童の満足感「主体的に学ぶ・共に学ぶ楽しさ」の意識 ・教員「対話的な追究活動」の指導の実践	4	5	・学ぶ意欲を引き出す方法を、先生方が工夫を凝らして実践している。(プログラミング学習、発表に対する意見や質問:対話的に) ・少人数なのでグループ活動等は限られてくる分、複式学級など近似学年との学習活動を通して、意見や考えの違いなどを感じることができると考える。	・安全・安心な学級づくり ・「一人で」「ペアやグループで」「みんなで」という考える場面をねらいに応じて設定 ・思考の深まりが見えるノート作りの指導 ・視点を明確にした振り返りとその共有・価値付け
	3	読書習慣の定着 子ども・保護者・教員「すすんで読書」の実践	3	3	・家庭での読書は個人差が大きいと思われるので、自主的に行うことができるような工夫が必要である。 ・読書活動は、自分の周りにない情報を得たり、語彙を豊かにする上でとても大切である。活字に親しむ力、読み取る力、要約して伝える力を身に付けるためにも継続してほしい。	・朝読書時間の確保と子どもの実態に応じた読書指導 ・学習委員会の活用(読書カードと表彰、呼びかけ、読み聞かせや集会) ・図書支援員、ボランティアと連携した環境整備、おはなしコンサートの継続 ・家庭への情報提供と啓発活動、「家読(うちどく)」への取組と学校報等による紹介
	4	家庭学習の習慣化と内容の充実 ・児童の意識と取り組みの実践(習慣化と内容)	3	3	・読書活動と同様に、家庭での取組は個人差が大きいと思われるので、保護者の評価が低くなっていると思われる。 ・きれいなノート作りこだわらず、「自分の理解を深めるための工夫」という視点を大事にしてほしい。	・学習ノートのチェックとコメント ・家庭学習の手引き活用によるノートづくりや学習内容の定期的具体的な指導 ・家庭学習コーナー設置、家庭学習の内容のモデル紹介(ノートの展示や掲示) ・家庭への協力依頼(見取り、声かけ)
豊かな心	5	あいさつ・コミュニケーション ・児童の意識と、児童同士・家庭や地域・職員とのあいさつの実践	5	4	・春に比べ、朝のあいさつなど、決められた状況下でのあいさつはよくなってきている。 ・急な来客などに対して、自発的にあいさつをするという点で課題があると思うので、臨機応変な場面でもあいさつできるように、手立てを工夫してほしい。(実践的な指導等)	・児童会主体の取組と家庭への啓発活動 ・児童会によるあいさつロードの設定やキラリあいさつ運動、呼びかけ(おはよう&さようなら、感謝の気持ちこめて) ・家庭での日常的なあいさつの啓発(おはよう・おやすみ・いただきます等)
	6	自他の良さを認め合う学校・学級づくり ・児童の満足度(児童アンケート)	4	4	・自己肯定感を高めることは、おおむねできている。他者を肯定することや、他者から肯定されるような取り組みを大切にして、学級づくりが進められている。	・がんばりやよさが認められる機会の意図的な設定(学級で・集会で・おたよりで) ・自分のよさ、友達のがんばりをとらえる力の伸長 ・互いを認め合い、互いに支え合うことのできる学級づくり ・学校生活のあらゆる場面あらゆる機会を捉えてよさを紹介し、賞揚する。
	7	児童の理解・生徒指導・問題への早期対応 ・児童保護者の意識、相談への対応や個別指導の実践	5	5	・一人一人の児童と先生とのコミュニケーションがとれており、きめ細かな対応ができていたことは、小規模校のメリットである。 ・角館小との統合に向けて、一人一人の期待や不安によく対応してくれている。	・「自己決定」「自己有用感」「共感的人間関係」を基盤とした生徒指導の実践 ・何でも話し合える認め合える学級経営の充実 ・児童を語る会の定期開催(情報共有) ・保護者や児童の困り感、相談事への真摯な対応、細やかな連絡連携
健やかな心と体	8	根気強さ・粘り強さの育成 ・児童の自己評価と実際の姿	4	4	・一人一人の校内での役割が明確になっていて、「自分は何をすべきか」を意識して活動や学校生活づくりに取り組んでいる。保護者の評価が低くなっているのは、「もう少しがんばってほしい。」という親心の表れではないか。	・「見通し」と「振り返り」による活動の推進(学校行事、諸活動) ・自分なりのめあてをもち努力する場の設定、縦割り班活動の充実(係や当番活動、スマイル班活動、縦割り班清掃、ランランタイム、全校テスト…) ・家庭での「家族としての仕事」の啓発(長期休業を中心に)
	9	たくましさ・向上心の育成 ・児童の意識(児童アンケート)と活動に取り組む姿 ・「夢カード」への記述	4	4	・小規模校のデメリットと思われるが、子どもたちの趣味やスポーツなどの多様性という点が課題となっている。選択肢が少ないと、選択の幅が狭くなりがちになる。学校統合が、よい刺激になることを期待している。	・児童主体の活動の推進(児童による「めあて・見通し」と「振り返り」を取り入れた学校行事や諸活動の推進) ・「夢に近づき自分」を意識化させるための「夢カード」「キャリアノート」の活用 ・子どもと共に行動し、「子どもの変容」に学びながら、励まし賞賛する日常活動の継続
	10	基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)の定着 ・早寝・早起き・朝ご飯の実態(児童・保護者アンケート)	3	3	・今は、小学生だけでなく、受験生にも「早寝・早起き・朝ご飯」の生活習慣がよいと言われているので、今後も小学校の段階から「望ましい生活習慣」を身に付けさせてほしい。 ・スマホやゲームの影響が心配である。家庭でのルール作りが、今後ますます重要になってくると考えられる。	・家庭との連携を密にした指導の継続 ・生活習慣表(中川つこの当たり前)配布による児童への意識付けと家庭との連携 ・長期休業を中心とした「元気満タンチェックカード」の工夫・活用 ・学校保健コーナーでの啓発
	11	歯・口の健康づくり ・むし歯の状況 ・児童・保護者の意識	4	4	・学校歯科医の石川先生のご協力により、長期にわたって活動が続いてよかった。今後も、自主的に「正しい歯みがき」に取り組めるように取組を継続してほしい。	・学校歯科医と連携した取り組み ・保健委員会活動の充実(歯磨き指導・元気満タンチェックカードの活用) ・定期的な歯磨き指導と家庭への啓発、連携、わっはっ歯カード
家庭・地域との連携	12	情報提供・発信 ・保護者の満足度(保護者アンケート)と取り組みの実践	4	4	・大変よく情報提供していただいている。 ・先生方にはご難儀をおかけしたが、その分、保護者の評価が高くなっていると思う。	・学級通信、学校報等紙面による情報提供 ・HPやブログの更新(継続) ・メール配信システムの有効活用
	13	地域人材活用・関係機関との連携 ・地域人材の活用と関係機関との連携、活動の実践	4	4	・ニコニコ米、学び-教室等、地域の方々からご協力をいただき、充実した取組につながっている。「地域連携」は、中川地域の大きな財産であると感じている。	・角館中川地域学校協働本部推進員や関係機関との連携 ・授業や諸活動のための学習素材の掘り起こしと積極的な人材活用 ・ボランティア人材の確保

きわめて良好	5	実施状況は極めてよく意識も高い。数値目標95%以上達成
良好	4	実施状況はよく意識も高い。数値目標90%以上達成
おおむね良好	3	実施状況は概ね良好。数値目標80～89%達成
やや不十分	2	実施状況はやや不十分。数値目標65～79%
努力を要する	1	実施状況は不十分で努力を要する。数値目標64%以下